

令和 7 年 6 月小谷村議会定例会
一 般 質 問 要 旨

令和 7 年 6 月 5 日（木）午前 10 時開議

- ① 3 番 柴田 友造 議員
 - (1) 文化財について
 - (2) 全国草原サミット in おたり「小谷宣言」について
 - (3) ユネスコエコパークの登録について

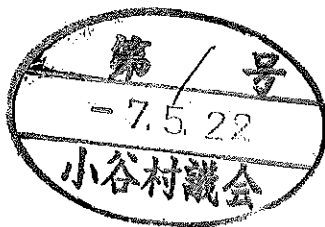
- ② 9 番 曾根原恵子 議員
 - (1) 農業の未来を見据え後継者の確保を
 - (2) 豪雪災害に柔軟な対応を
 - (3) 「こども誰でも通園制度」について

- ③ 6 番 深澤 英喜 議員
 - (1) 指定管理事業者の補助と指定管理施設の使用料について
 - (2) 村道除雪体制について

- ④ 5 番 相澤 稔 議員
 - (1) 高齢者福祉に対する取組について
 - (2) 雨中月岡バイパスについて

- ⑤ 1 番 横澤 匠 議員
 - (1) 住宅供給不足の対策について
 - (2) 観光地の対策について

- ⑥ 7 番 吉岡 久人 議員
 - (1) 特急あずさ号復活の取組は
 - (2) 村民との対話について



令和7年5月22日

小谷村議会議長 宮澤 正廣 様

小谷村議会議員 3番 柴田 友造

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 文化財について	文化財の対応について、従前の質問事項から検討・研究行う旨の答弁であったが、その後の結果について伺う。 ① 昨年3月の一般質問で、「村内には10つの登録有形文化財があり、歴史上極めて重要で後世に伝える価値があるため、参考となる自治体の例も紹介しながら保存のための村の補助金支援」の質問に対し、「引き続き研究をする」と答弁されている。 ② 昨年9月では、「神社本殿拝殿は歴史ある建物であると認識している。維持・支援策についての具体案はいまだ持ち合わせていない」と答弁されている。	教育長 関係課長
2 全国草原サミットinおたり「小谷宣言」について	昨年10月に全国草原サミットが行われ、実行委員長として村長が「小谷宣言」に署名してサミットが終了しました。 そこで、「小谷宣言」の5項目の中から次の2項目について、村として具体的に今後どうするのか伺う。 ① 「草原に関わるすべての人々と連携しながら、茅場をはじめ希少な草原の環境・文化を守り、保全することに努める。」について、どのように連携し環境文化を守り保全するのか。	村長 教育長 関係課長

3 ユネスコエコパーク登録について	②「草原の貴重な資源を暮らしや観光・産業振興に活用し、草原が育んだ技術や知恵を次世代へと引き継ぎ」について、どのように暮らしや観光、産業振興に活用し、次世代に引き継ぐのか。 エコパークは、世界遺産で知られるユネスコ(国際連合教育科文化機関)の認証制度の一つで、手つかずの自然を守ることを原則とする一方、生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)を目的とする取り組みで、世界では、131 か国 727 地域が登録されており日本では、只見、みなかみ、白山、志賀高原、南アルプスなど10地区が登録されています。 そこで、棚田や茅場に代表されるような豊かな自然と、地域の伝統・文化・産業を調和して、「人間と自然が共に暮らす小谷」として、自然と人間社会の共生を目的とする、ユネスコエコパークに登録し国際的に認めてもらえるような取り組みをしてはどうか伺う。	村長 教育長 関係課長
--------------------------	--	----------------------------



令和 7 年 5 月 22 日

小谷村議会議長 宮澤 正廣 様

小谷村議会議員 9 番 曾根原 恵子

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
農業の未来を見据え後継者の確保を	村の農業従事者の高齢化と、後継者確保の困難な現状では、耕作する人がいない田畑が今後増えていくことを危惧します。昨年度作成された「地域計画」ではどの農地を誰が耕作していくか、後継者がいるか等、地域ごとの姿が記されています。この計画を出発点に、地域の取り組みをどう進めるのか。そこで以下の質問をします。 1 村の後継者未定の農地の割合はどのくらいか。(長野県では、10年後の後継者が定まっていない農地の割合は約49%) 2 新規就農者を含め、担い手の確保が課題となっているが対策について伺う。 3 収益性が高く小谷に適した作物は稲作とも考えるが、水稻栽培を地域計画及び目標地図にどう組み込んでいるか。 4 国の支援を受けて「農村型地域運営組織」を設立し取り組みをした。取り組み団体の事業効果の検証と今後の方針は。 5 認定農業者・経営体組織・個人農業者に対する農業機械導入の助成金や支援制度はあるか。 6 米の価格高騰は生活に深刻な影響を及ぼしている。この異常事態をどう考えるか。食糧保障の在り方に対する村長の見解を伺う。	村長 関係課長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
豪雪災害に柔軟な対策を	今冬は、降雪量だけでなく、意外な地域へ予想を越える降雪など、全国各地に大きな被害をもたらしました。村内でも豪雪により、建物被害・倒木被害がありました。 本村は災害救助法適応外でしたが「豪雪の中に住んでいる」ことが災害に等しい状況でもあり、高齢化が進む中、これからも警戒と対策が必要となります。安心・安全の暮らしをどう確保していくかを伺います。 1 今冬の人的、家屋、またその他豪雪被害の状況は。 2 雪害における家屋等の修繕の補助制度の創設はできないか。 3 著しい豪雪時において、村が主導し、地域や個人家屋の除雪支援することが必要である。緊急的支援をする場合の支援ルール(マニュアル)があるのか、判断基準等は。そして、防災計画での豪雪時の支援の位置づけはあるのか。 4 住宅除雪支援について、居住家屋以外の物件(農機具倉庫・車庫・作業小屋等、生活の主となる建物)についても対象とすることは考えられないか。	村長 関係課長
「こども誰でも通園制度」について	「こども誰でも通園制度」は、来年度(26年)から実施される予定の保育制度です。従来の保育制度では、親の就労が入園の条件となっていたが、本制度は、その制約がなく、こどもの成長支援と保護者の負担軽減を目指すため、国が制度の実進を進めています。 そこで、小谷村では、本制度の運営について、現在どこまで協議、検討、準備をしているかを伺います。	村長 教育長



令和 7年 5月 22日

小谷村議会議長 宮澤 正廣 様

小谷村議会議員 6 番 深澤 英喜

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問相手
1、指定管理事業者への補助と指定管理施設の使用料について	指定管理施設における運営費の支援について、村としての考えを。また、使用料が発生する施設について質問します。 ① 各指定管理施設で、運営補助金を支出する場合の定義は。 ② 指定管理施設で維持管理費等{水道料・点検費など}村が負担している場合もあるが、その場合の定義は。 ③ 指定管理者への支援は、委託料と補助金があるが、項目が異なる理由は。 ④ 物価や人件費の高騰が著しい現状から、指定管理施設に対して、今後どのような対応(支援)について考えは ⑤ 指定管理施設使用料についての定義は。 ⑥ 指定管理者の負担についての定義はあるのか。	村長 関係課長
2、村道除雪体制について	今冬において除雪作業に対して大きな負担がかかっている現状と思う。しかしながら、冬期の道路維持は、村民の生活・観光産業に應えるべきことから重要な事業である。そこで村の除雪事業について伺います。 ① 除雪体制の現状と経費の支出内容は。 ② 委託及び報酬の基準と労働環境は。 ③ 除雪機械の購入基準と維持管理の現状は。 ④ 除雪より村道の破損が多く見られるが、対応は。	村長 関係課長



令和 7 年 5 月 22 日

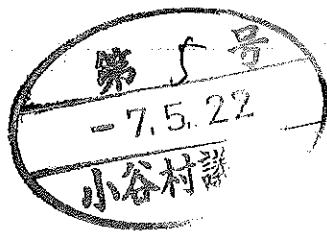
小谷村議会議長 宮澤 正廣 様

小谷村議会議員 5 番 相澤 稔

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
高齢者福祉に対する取組について	高齢者福祉に対する取組みは「小谷村高齢者福祉計画」(令和6年3月策定)の中で示されている。高齢化と人口減少もあいまって課題は多々あると思うが、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる社会の実現に向けて、計画された取り組みを実現すべく、次のことについて伺う。 1 独居高齢者及び高齢者のみの世帯の現状は。 2 介護保険サービス(居宅、地域密着型、施設)の利用者の状況は。(R6年実績、R7年見込など) 3 小谷村重度要介護高齢者等家庭介護者慰労金支給について、令和6年度の実績は。また、本慰労金を支給する目的対しての村としての評価はいかがか。	村長 関係課長
雨中月岡バイパスについて	去る4月25日、雨中月岡バイパスに関する説明会が開催された。本年降雪前の供用開始と JR 南小谷駅南の現道との合流箇所 の整備計画などの説明があった。しかし、合流箇所の安全対策には不安を感じている。 そこで、村では県の計画で十分な安全が確保できると考えているか。そして、村として、必要と考える安全対策や案内標識の設置など、県へ要望すべき事案はあるか。	村長 副村長 関係課長



令和 7 年 5 月 22 日

小谷村議会議長 宮澤 正廣 様

小谷村議会議員 1 番 横澤 匠

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 住宅供給不足の 対策について	村内に移住を希望する人や、物件を探す 人が増えていると聞いています。住宅の供 給は人口減少対策では重要と認識していま す。そこで住宅事情について伺います。 ① 村内の空き家物件の状況、空き家バン ク登録、移住希望者の状況は。 ② 住宅供給不足の理由、その課題解決に 向けた対策は。	村長 関係課長
2 観光地の対策に ついて	今後も訪日観光客や外国人を含む従業 員等の増加が予想されます。迷惑行為や違 法な行動の多発が想定されます。また、道 路などインフラの未整備も渋滞や事故など 観光地のイメージダウンにつながりかねない 課題と思います。よりよい観光地とするた めの対策について伺います。 ① 白馬村・野沢温泉村・山ノ内町と当村が 連名で訪日客へのマナーや文化の事前 周知、受け入れ態勢の整備強化につい て、国へ要望を行ったとの報道がありまし た。要望の経緯とその内容とは。 ② 観光客を受け入れる地域として多くの課 題解決の必要があります。行政が主導す べき対策について、以前の村長答弁で は、道路事情を掲げていたが、道路対策 について、どのように進めているのか。	村長 関係課長



令和7年5月22日

小谷村議会議員 宮澤 正廣 様

小谷村議会議員 7番 吉岡 久人

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 特急あずさ号復活の取組は	去る3月15日、JRのダイヤ改正から特急あずさ号の南小谷駅乗り入れが無くなり、2ヶ月余が過ぎた。 3月議会定例会の一般質問では「復活に精力的に取り組む」との村長答弁であったが、現時点で復活に向けた取組状況とその成果を伺う。	村長 関係課長
2 村民との対話について	副村長就任から約1ヶ月、多くの村民との対話を始めたところと察する。日は浅いがこの1ヶ月で村民と対話した内容と感じたことについて、以下の項目ごとに伺う。 ① 道路・河川等建設関係 ② 観光関係 ③ 福祉関係 ④ 農林業関係	副村長